

【活動の主題】 ボール運動の充実

【副題】 スマイルボールでみんなスマイル

【学校名】 湖南市立

菩提寺小学校

1 本校の概要

本校では、今年度の校内研究の主題を「学んで楽しい！自立した学習者の育成」とし、各教科で子どもたちがやってみたいと思える授業づくりに取り組んでいる。体育科でも子どもたちがやってみたいと思える魅力的な場づくりや、教材研究に取り組んでいる。特に、バレーボールやサッカーなどのボール運動は、子どもたちにとって関心が高い教材である。学校体育で様々な運動やスポーツに親しむ機会をつくり、子どもたちの豊かなスポーツライフにつなげていきたいと考えている。

2 取り組んだ内容

昨年度、小学2年生でボールゲームの学習をしていた時、子どもから「ボールが硬くて、捕るのが怖い」という相談を受けた。当時、本校にあったボールは硬いボールが多く、一部の子にとって、学習に意欲的に取り組めない状況があった。使用するボールによって、子どもたちの学習成果は大きく変わってくる。そこで、子どもたちが安心してボールを投げたり捕ったりすることができるスマイルボールの購入を検討した。スマイルボールは柔らかい素材が使われており、どの子も安心して、ボールを捕ったり蹴ったりすることができると考えた。

(1) 体育科「シュートボール」

ボールゲームの学習でシュートボールに取り組んだ。今回、使用したボールがスマイルボールのドッジボール0号球であり、低学年の子どもでも片手でつかんで投げられる大きさであった。また、一人一球ボールが使えるように購入したため、体育の授業の中で、どの子もたくさんボールを投げる機会を保障することができた。単元後半では、強いボールを投げられるようになり、たくさん得点がとれ、子どもたちはゲームの楽しさに触れることができた。

さらに、ボールの素材が柔らかいため、子どもたちは、安心してボールを捕ることができた。硬いボールだと捕るのが怖くて逃げてしまう子もいたが、スマイルボールを使うと、どの子も体の正面でボールを受けられるようになった。



(2) 体育科「キックベース」

ボール運動の学習で、キックベースに取り組んだ。本校にあったボールは硬いサッカーボールだったので、ボールを蹴った時に足が痛く、意欲的に学習に取り組めない状況があった。そこで、スマイルサッカーボールの4号球を購入した。スマイルサッカーボールは柔らかい素材で作られており、ボールを強く蹴ってもあまり痛くなく、子どもたちは安心してボールを蹴り、遠くにボールを飛ばせられるようになってきた。

また、守りの子どもたちも安心して、ボールをキャッチすることができ、攻防のゲームの楽しさを味わうことができるようになった。

3 活動の成果

スマイルボールを使用したことで、子どもたちのボールに対する恐怖心を軽減し、楽しみながらボールを投げたり、捕ったり、蹴ったりする技能を高めることができた。また、自分たちが選んだ作戦や、練習した成果がゲームで発揮されやすくなり、「ナイスプレー」と声をかけ合ったり、ハイタッチしたりする姿が単元の中でたくさんあった。スマイルボールを購入したことで、子どもたちのたくさんの「できた」につなげられることができた。